



「陶芸家 今井家」

父・今井 政之さん 息子・今井 真正さん 孫・今井 完眞さん

それぞれの個性が際立つ

いっかど

父「我が家は三代にわたって陶芸作品を創り続けているけど  
芸術家は一代きりや。」

それぞれが自分の世界を創っていかなあかん」

子「小さい頃から土を触ってきて

知らず知らず土の「味」を教えられてきた気がします」

父「土と向き合って失敗を重ねる…それは失敗やなく  
新しい感性を磨いていくことになるんや」

子「窯はひとつやけど三人三様。

個性は違うし、作風もバラバラやけど

常に慢心せずに追い求めることが大切なんでしょうね」

父「私もまだまだ道半ばや。」

「いっかど」のもんやと言われるように

時代に合った創作を続けていかんとな」

「いっかど」は「一角」「廉」と書き「ひとぎわ  
優れている」ことを意味し、京都を中心に  
ひろく使われている言葉。「いっかどの人物」  
「いっかどの品」などで使っ。

おもい、ことばに託して  
京ことば

「ON YOUR SIDE ～一緒にうれしい～」京都中央信用金庫は地域の歴史や文化をささえる活動を応援します。

 京都中央信用金庫